

平成 29 年度 東京外国語大学オープンアカデミー

東京外国語大学語学研究所 企画

『コーパスから見えることば・文化・社会』

2017年11月7日(火) 第5回

「アラブ映画のシナリオから見たこと」

東京外国語大学非常勤講師

長渡 陽一

1. アラビア語の地域

(1) アラビア語が話されている国々

今回は、アラビア語のコーパスの話ですが、皆さんはアラビア語というのをあまりご存知ないと思うので、まず、アラビア語がどの地域で使われているか、というところからご紹介しましょう。

地図をご覧ください。東はイラク、オマーン、アラビア半島があります。アラビア半島はアラビア語の故郷なので、もちろんアラビア語を話します。ここからイスラム教と一緒に広がって、イラク・シリアなどへアラビア語は広がりました。エジプトは、アフリカの中でもいちばん人口が多く、現在、アラビア語を話す人がいちばん多い国です。その南のスーダンでもアラビア語が話されています。西



へ行くと、リビア、アルジェリア、モロッコ、いちばん西のモーリタニアまで、アラビア語を話している地域は結構広いですね。

ただし人が住んでいない砂漠も広いので、人口にしてみるとそれほど多くなく、だいたい3億人ぐらいです。それも、話者数の数え方によって多少変わってきます。アラブ地域には、アラブ人ではない民族がけっこうたくさん暮らしているのです。

(2) アラブ地域の諸民族

モロッコは、半分がアラブ人ではなく、ベルベル人で、アラビア語とはまったく別のベルベル語を話します。ベルベル語と一口に言っても、離れた別の地方のベルベル語とは通じないくらいなので、ベルベル諸語といったほうが正確です。ベルベル語の標準語があるわけではないので、モロッコの中でも有力言語にはなりにくいのです。ベルベルの人々も、小学校に入ると文語アラビア語を勉強し、大都市に出ていけば、社会生活、経済活動のためにモロッコアラビア語を話します。村から出ない農民の人々はアラビア語を話しませんし、むしろ世界へ出ていこうとする人はフランス語のほうを話すようになります。さて、ベルベルの人々をアラビア語話者に入れるかどうか？

また、イラク、シリア、そしてイランやトルコにまたがって暮らしているクルド人があります。最近、イスラム国（IS）に占拠された地域をクルド人が奪還したというニュースがありました。このようなクルドの人々はクルド語を話していますが、イラクやシリアに暮らすクルド人は、アラビア語も話せます。クルド人たちが難民として日本に来ましたが、日本語を教えようとしたときに、クルド語ができる先生や教科書がありません。アラビア語が話せるのですが、シリアから来た人は生活上のアラビア語シリア方言は話せるけれども、文語アラビア語はできないので、教科書が使えなかったりします。話者数を数えるとき、国の人口を目安にするとシリア国民で数えられ、民族人口を目安にするとクルド人として数えられます。

イエメンには、南アラビア語系の諸民族が暮らしていますし、エジプトのナイル川上流にはヌビア人が暮らし、リビア、アルジェリアなどには、先程のベルベル人が暮らしています。さらに、今、シリアから大量のアラビア語話者が難民としてヨーロッパに渡っているのです。シリアの地域ではアラビア語話者が減り、ヨーロッパでは増えています。

正確に統計を取るには、所属民族のアンケートをとらなければなりません、

他の民族の中にもアラビア語を話す人はいるので、正確な人数は分からないのです。日本のように、暮らしている人のほとんどが日本語話者である地域とは事情が異なり、話者が3億人というのはかなり概算しているわけです。

(3) アラビア語の方言

地図でご覧になったように、アラビア語はそうとう広い地域で話されているので、遠く離れたアラビア語は、違いもかなり大きくなります。たとえば、シリアのアラビア語と、エジプトのアラビア語とはわりと通じます。コテコテのシリア弁の会話とコテコテのエジプト弁の会話を傍で聞いていたら、互いに半分くらい分かる程度だそうです。単語的にはシリアとエジプトでは7、8割くらいは共通していますが、発音のなまりがあって、慣れるまでは聞きとりにくいようです。

NHKで国際ニュースを担当なさっている、イラクと日本のハーフのかたと、モロッコのかたが話すときは、文語の知識もあるので文語も入れつつ、なんとなく最大公約数のアラビア語で話しているそうです。話しているうちに、互いに単語が調整され、共通項ができてくるのかも知れません。それくらい話し言葉の方言差は大きいのです。

2. 口語体と文語体

だんだんと、今回の本題、文語体と口語体の話に近づいてきました。日本語では、書き言葉が分かれば会話もできますから、外国人が本を読んで学んで、それを会話で応用できます。もちろん「しちゃう」と「してしまう」のように違いはありますが、「してしまう」を会話で使わないわけではありません。ところがアラビア語は、書き言葉（文語体）と話し言葉（口語体）の違いが大きいのです。

(1) アラビア語の口語体

それぞれをどういう場面で使っているかを見てみましょう。会話は口語体です。口語体をアラビア語では「アンミーヤ」と呼びます。テレビから流れてくるアラビア語は文語体もありますが、ドラマやトークショー



などは基本的には口語体です。友達と話すとき、正式な場所、たとえば市役所の窓口に行っても話すのはやはり口語体です。学校では国語としてアラビア語の文語を勉強しますが、ふつうは文語で話すことは難しいので、口語体で説明します。教室や職員室で先生や子供が話すのは口語体です。

(2) アラビア語の文語体

一方、文語体は、本、新聞、メニュー、看板など、文字で書かれているものは基本的に文語体です。また、ニュースのように原稿があるものは文語体です。アラブ諸国の国際会議では、かなり口語も混ざってきますが、ベースは文語体です。ただ文語体でスラスラと話せる人は、かなり教養のある人です。



(3) 文語体の体験

口語体と文語体の違いを、ために日本語の例で体験してみましょう。明治初期、『明六雑誌』に掲載された、西周の「秘密説」の一節です。

「秘密説」 西周

かくのごとき題号を掲げば、その主論のいかんたるを論ぜず、人々その心裏、貪知的（カリヲシチー）の性を攪動して、見んと欲し、聞かんと欲し、その秘密たるいかに知らんと欲し、その意思を発揮すること、なお痛痒の撫搔を要するがごとし。たとい初頭一目下、その取るに足らざるを知るといえども、愚駭自棄の人にあらざるよりは、意を惹て措く能わざらしむるもの、人の性すなわち然り。ゆえに秘密の二字はかえって強く人の貪知性を揮擽し、いつそうその注意を倍せしむるものなり。

（『明六雑誌（中）』岩波文庫 pp.157 より）

太字にした部分は、現在ではほとんど使わない言葉で、文語体という印象が強く感じられると思います。文語体の表現が全体の約40%です。今の私たちが読んで、一部は知らない意味の単語がありますが、全体を通して何とか理解することができます。ところが、この文体で自分が書くとなると、古い資料からいろいろ

な表現を引っ張ってきて、継ぎはぎして時間をかければ書けるかも知れませんが、かなりの現代口語が混ざってしまうはずです。これをだれかに読んでもらって聞きいてみると、なかなか聞き取れないはずです。まして、会話をこの文体でスラスラ話すことは到底できません。

アラビア語の文語体は、これよりは生活の中で接する機会が多いですが、文語から感じられる雰囲気はこれと同じなのです。アラブの人々は、生まれてから周りの人たちの話す口語体を聞いて身につけ、小学校に入って、このような文語体で文を読んだり書いたりすることを勉強するわけです。本を読むときは文語体で読むのです。

日本では明治時代の頃には、書くときにはこのような文語体で、話す言葉とは違う言葉で書いていたのです。今の日本では、方言にもよりますが、書くときにも、話している言葉と似ている言葉で書いています（実は、真相はむしろ逆で、口語体に近づけた文語体で話すようになっているのですが...）。この状態を言文一致と呼びます。つまり、アラブ世界では言文が一致していないのです。

(4) アラビア語の勉強

文語体は、「秘密説」で体験したような雰囲気なので、外国人が一生懸命アラビア語の文語体を学んで、留学や旅行で現地に行って、学んだ“アラビア語”で会話しようとする、「かくのごとき...」のように話してしまうことになります。現地に行った人の中には「アラビア語で話したら笑われた」とがっかりしてしまったという話も聞きます。日本でも、外国人が文語体で話したらちょっとおかしいですね。

このような事情があるので、勉強するときに問題になります。書かれるのは文語体なので、文語体から学ばせることが多いのですが、文語体で練習した会話は、現地でそのままは使えません。現地で使おうと思うならば、口語体を先に勉強する必要がありますが、これがなかなか難しいのは、文字に書かれないので、実際に読むものがありませんし、また口語体では作文もしにくいです。ふつうの外国語教材では、読み物で単語を覚えて、会話に応用できますが、アラビア語ではこれがうまくいきません。アラビア語を、話し、聞き、読み、書くためには、口語体と文語体の2つを学ばなければならないのです。アラビア語の難しさは、この点に尽きます。アラビア語自体はぜんぜん難しくなく、ごく普通の言語です。

3. 口語体と文語体の差

では、アラビア語の口語体と文語体の差がどのくらいの大きさなのかをみていきましょう。「秘密説」では約40%が文語体一致していなかったわけですが、では、アラビア語では、口語体と文語体でどのくらい違うのか。これが、今回の公開講座のテーマです。

西周の「秘密説」は、現代語と単語がいくつか違いますが、同じものも結構あります。文法的には「掲げれば」が「掲げば」になっていたり、「秘密であるかどうか」が「秘密たるいかん」になっているなどが異なりますが、口語体としてそのまま読めてしまうようなものもあります。

3.1. 『テロリズムとケバブ』

今回は、文語体と同じ単語が、話し言葉の中でどのくらい使われているかを中心に見ていきます。話し言葉としてここで観察するのは、エジプトのコメディ映画『テロリズムとケバブ』（1993年作）です。

一般市民の男性（写真右）が、子供の転校手続きのために政府合同庁舎に行き、一向に受け付けてくれない職員と小競り合いになり、駆けつけた警備員のライフルが暴発したところから、人質を取って庁舎に籠城するテロリストと誤解されてしまう話です。題名にある「ケバブ」は、アラビア語ではカバブといい、挽き肉を鉄串につけて焼いた焼肉で、下層民にとっては、少々奮発するような料理です。人質になった人たちが、お役人たちへのふだんの不満を爆発させて、交渉する大臣に対して、このケバブを要求します。

「テロリズム」はアラビア語でイルハーブ (*irhāb*)、「焼肉」はカバブ (*kabāb*) で、意味的にミスマッチな2つが、韻を踏んでいて面白い題名になっています。



↑アーデル扮する一般市民（右）と援護に加わった男（左）

エジプト映画『テロリズムとケバブ』

（120分、1993年制作、シャリーフ・アラファア監督、アーデル・イマーム主役）

一般市民の男性が、子どもの転校手続きのために政府合同庁舎へ。仕事をしない職員と小競り合いとなり、駆け付けた警備員のライフルが暴発したことから、人質を取って庁舎へ籠城するテロリストと誤解される。公務員や高級官僚などの横暴を風刺すると同時に、不満を持ちながら声を上げない国民の姿も風刺した喜劇。

3.2. 口語体と文語体の単語の対応関係

映画の中で話されているのは口語体です。『テロリズムとケバブ』のシナリオの中で、文語体と同じ単語と違う単語を数えてみます。まず、口語体の単語が、文語体の単語と、どのように対応関係しているかを見てみましょう。

(1) 同源語対応

日本語の文語体の文は、現在話されているのと同じ発音で読みますが、アラビア語の場合、発音が異なるものがあります。また、子音は同じままで、母音が異なるものもあります。

同源語対応の例

	会話体		文語体	
「3」	タラータ	<i>tala:ta (t)</i>	サラーサ	<i>θala:θa (θ)</i>
「アパート」	シャッア	<i>ʃaʔʔa (ʔ)</i>	シャッカ	<i>ʃaqqā (q)</i>
「家」	ベート	<i>be:t (e:)</i>	バイト	<i>bait (ai)</i>
「新しい」	ギディード	<i>gidi:d (g)</i>	ジャディード	<i>dʒadi:d (dʒ)</i>
「あなた」	ハドレタク	<i>ħaḍritak</i>	ハドラトゥカ	<i>ħaḍratuka</i>
(定冠詞)	エル	<i>El</i>	アル	<i>al</i>
「と、そして」	ウェ	<i>wi, w</i>	ワ	<i>wa</i>

文語体のサラーサ「3」のサ (θ) は、英語の thank の th の発音です。θ は、アラビア半島やイラクなどでは口語で使われますが、エジプトではタ (t) で発音します。シャッア「アパート」の「ツ」 (ʔ) は、「ア、ア、ア」と言うときの途切れた部分の発音で、声門閉鎖音です。これは、文語体では喉の少し奥で発音するカ (q) です。ベート「家」は、文語体の ai が口語体で e: になる例です。英語でも、main「主な」とつづってメインと発音するのと共通しています。

口語のハドレタクと文語のハドラトゥカ「あなた」のような単語も、慣れるまで

「家」 ベート

ちなみに、「アルファベット」の「ベット」は、この「家」です。地中海で覇権を握っていたフェニキアが使っていた文字を、ギリシャが借りてきて、それをローマが借りたのがローマ字です。フェニキア語は、アラビア語と姉妹関係にある言語です。ギリシャ語で、Β (小文字はβ) の文字の名をベータといいますが、これはフェニキア語の「家」と考えられます。同じくアラビア語と姉妹関係にあるヘブライ語でも「家」をバイトといいます。地名のベトレヘムは「パンの家、食べ物 (神の) 神殿」に由来しています。

は、別の単語のように聞こえ、知っている単語とは分からないものです。同源語で対応しているというのは、このような単語も含まれます。

このほかに、数は少ないですが、語根共有語があります。アラビア語の単語は、主に子音3つから成る「語根」と、母音や接頭辞などを含む「語形枠」とに分解することができます。たとえば「男」は、語根は *r-dʒ-l* を語根として、口語体では（エジプト方言では *dʒ* が *g* の発音になるので）ラーゲル (*ra:gil*)、文語体ではラジュル (*radʒul*) です。

(2) 別語対応

別語対応とは、文語体でも同源語は使われているが、同じ意味の単語としては別の単語が対応しているものです。たとえば、口語体のターニ (*ta:ni*) 「他の」は、文語のサーニー (*θa:ni:*) と同源語ですが、これは「2番目」の意味であり、「他の」の意味ではアーハル (*a:ħar*) と対応します。また、ボクラ (*bukra*) 「明日」は文語体では「早朝」の意味で、「明日」はガド (*ħad*) と言います。このように意味がずれたものがあります。

(3) 疑問詞

疑問詞は、口語体と文語体で単語が異なります。

疑問詞の対応

	口語体	文語体
「何」	エー <i>e:</i>	マー <i>ma:, ma:ða:</i>
「どこ」	フェーン <i>fe:n</i>	アイナ <i>aina</i>
「どう」	イッザーイ <i>izza:i</i>	カifah <i>kaiḥa</i>

語源的には、エーは、文語体のアイ (*ayy*) 「どの」とシャイ (*ʃayʔ*) 「物」が結合したエーシから、さらにシが落ちたものです。フェーンは、文語体アイナ「どこ」に前置詞フィー (*fi:*) 「〜で」がついたフィアイナからフェーンとなったものです。イッザーイ「どう」は、ザイ (*zayy*) 「衣装」と関係があると考えられます。

(4) 別表現

口語体にはこのほかに、対応する単語や表現が文語体にはないものがあります。バラーシュ (*bala:ʃ*) 「やめて」「〜をしないほうがいい」は、文語体に対応する

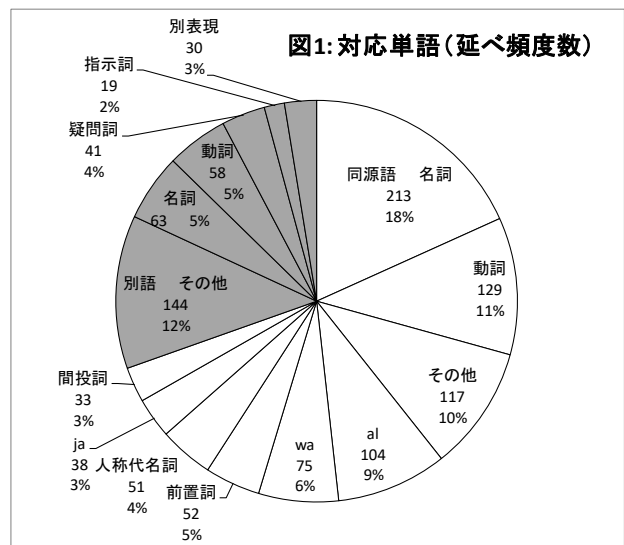
単語がないので、文語体で書くときにはラー (*la:*) 「いいえ」や、何かの動詞を使って、その否定命令形で表現することになります。また、文字通りには「私は君に何を言っているか」という意味の**パウーラク・エー** (*baʔu:lak e:*) は「あのねえ」という表現で、文語体に対応する表現がありません。

3.3. 対応単語の割合

以上のようにして、対応関係を数えた結果が図1の円グラフです。『テロリズムとケバブ』のシナリオの一部をコーパスとして、その中で使われた単語で、文語体に同じ単語があるものが白い部分（全部で69%）、文語体には同じ単語がないものが灰色の部分（全部で31%）です。この中には、何回も使われた単語も数えられていて、たとえば *al*（定冠詞）は104回、*wa*「そして」は75回数えられています。

いずれにしても、話されている言葉の中で、約7割が文語体でも使われる単語です。先ほどの「秘密説」の中に、文語体特有の単語は40%弱あったのですが、それでも、文字を見れば何とか理解できていました。アラビア語の文語体の文も、すぐには理解しにくいが何とか理解でき、書くにはかなりの訓練が必要ということが分かります。

ただし、アラブでは小学校から高校まで文語体を勉強し、大学まで進学した人ならば、文語体でレポートを書き、ふだんから文語体で本を読んでいるので、理解できる率は日本語の文語文よりは多くなります。



4. ことばから見える社会

ここでは、映画『テロリズムとケバブ』のシナリオから見えてくる、エジプト社会を紹介します。

4.1. “田舎者”

右の地図は、エジプトの地図です。首都カイロが北のほうにあります。カイロの北側には地中海へ向かって緑の耕作地帯が広がっています。カイロから南へは、ナイル川沿って、エル・ミニア、ルクソール、そしてアスワンまで、細い耕作地帯が伸びています。ルクソールは古代エジプトの都、テーベで、カルナック神殿やルクソール神殿、王家の谷などがあります。

ナイル川上流のほう、つまり上エジプトは耕作地の幅が狭く、全般的に貧しい地域で、カイロへと出稼ぎに行く人が多いので、カイロでは“田舎者”とみられるのです。

この映画で、靴磨き屋は、そのことばから上エジプトからの出稼ぎと分かります。

「合同庁舎」をカイロの人々は**モガンマア** (*mugammaʕ*) というのですが、靴磨き屋は**モジャンマア** (*mudzammaʕ*) というからです。エジプトの人ならば、**ジャ**という発音を聞いた瞬間に、田舎臭いと感じます。また「この2坪を政府から買った」の「2坪」を、カイロの人なら**エラteen** (*ʔirate:n*) というのを、**ギラteen** (*girate:n*) と言っています。

同じような例は日本でも見られます。濁音が多かったり、ナシ（梨）とナス（茄子）のようなシとスの区別がつかない発音から、私たちは、東北から出てきた“田舎者”さを感じ取ります。この俳優は、



Copyright
2009www.karnakjapan.com



合同庁舎で靴磨き屋をしている“田舎者”

本当はカイロ人ですが、映画では“田舎者”らしさを出すために発音を利用して
いるのです。

4.2. 遺書の言葉づかい

映画で自殺をしようとしている男性、サミールが、母親宛ての遺書を書いています。ふつう親しい人への手紙は口語体を多く使いますが、遺書は、重さを出すために文語体になります。アサンスィール (*asansi:r*) 「エレベーター」は文語体でミスアド (*miṣʕad*) 「昇降機」、バース「だけど」はワラーキン (*wala:kin*) 「しかし」と書いています。この男性は、妻への恨みの感情が次第に盛り上がって、さらに文学的になってきます。マ・タアッタレトシ「止まらなかった」はラム・ヤタアッタル「止まらざりし」、ダ・アダル「これが運命だ」をインナフ・カダル「これぞ運命なり」となるのです。遺書は、口語体で書くと軽くなってしまうので、文語体で荘厳に書くものなのですが、この場面では文学的に走り過ぎ、少し滑稽に見えています。



カイロの中心にある合同庁舎「モガンマア」



合同庁舎の屋上で遺書を書くサミール

4.3. 文語体の威厳

テロリストとして誤解されてしまった主人公が、内務大臣との通信用に、幼い男の子にトランシーバーを持って来させることになったのですが、その受け取りを市役所職員にやらせます。そして受け取りの際に、サカラトカ・ウンムク (*ṯakalatka ummuk*) 「汝の母、子を失いし」と叫ぶように指示しますが、これは文語体です。

また内務大臣も、トランシーバーで“テロリスト”と通話するとき、さすがに文語体だけで話すことは無理ですが、文語体の単語や表現をかなり多く入れようとしています。テロリストも内務大臣も、軽く見られないように文語体を使うのです。

4.4. ザグルータ

文語体の例ではありませんが、アラブの習慣を紹介しておきます。トランシーバーを届けて、無事に男の子が戻ってきたとき、その母親が「レレレレ…」と甲高い声をあげています。また、“テロリスト”が大臣にカバブを要求しようと呼びかけると、空腹の人質たちは喜び踊り、女性たちが同じように声を上げます。これは、女の人が喜びの時に出す声で、**ザクルータ** (zayru:ta) といいます。エジプトだけでなく



ケバブを要求しようと一致団結し、ザグルータをする女性職員

からアラブ全域で、結婚式などであげる喜びの声です。このような現地の習慣、文化に、日本にいながら触れることができるのも映画の魅力ではないでしょうか。

5. むすび

今回は、エジプト映画『テロリズムとケバブ』のシナリオの、さらにその一部という、一般的なコーパスより、かなり小さいコーパスから見えてくるアラブの社会を紹介しました。

このように、実際に使われているものを文字にしたものがコーパスで、この中で、一定のものを数えたり、観察したりすれば、自分の頭で考えたり思い出したりするよりも、客観的に観察できるわけです。思い出したりするだけではやはり限界があって、コーパスの中には、思いもよらなかった用例が見つかったり、意外なことが出てくるものです。

日本語でも、いろいろ気になることがあります。「ダサイ」や「やばい」という言葉がいつ頃から使われているのか、「ぜんぜん」の使われ方はどうか、など、正しいか間違いか、という視点ではなく、コーパスならば、客観的にどう使われてきているかを探ることができるのです。

参考文献

長渡陽一 (2016) 「二層言語 (ダイグロシア) アラビア語の会話体と文章体の単語対応」『外国語教育研究』19, pp.74-84, 外国語教育学会.

コラム † マルタ ～アラビア語をローマ字で書く国～



首都バレッタのメインストリート

・・・＊ ◆—————◆ ＊・・・

地中海の真ん中、チュニジアとシチリアの間に、小さな島国、マルタ共和国があります。島の真ん中にある城塞から眺めると海まで見渡せてしまうほど小さく、ここに約40万人が暮らしています。夏にはヨーロッパからたくさんの観光客がバカンスに訪れ、冬でも観光客でにぎわっています。

見どころ

ホテルの多いスリーマ地区から、観光の目玉、教会ドームがそびえる首都バレッタへは水上バスでも行くことができます。スリーマや隣のサン・ジリヤン地区には、海辺にカフェが立ちならび、午後のゆったりしたひと時を過ごすことができます。

他にも、目がついている船で有名な漁港マルサシュロック、古代文明の遺跡、四旬節前にはカーニバルがあったりと、見どころがたくさん。



水上バスから眺めるバレッタの教会ドーム



カーニバルの仮装



サンジリヤンのカフェでゆったりと



マルサシュロック漁港の、目がついている船

ローマ字で書かれるアラビア語

マルタは英語留学先としても有名ですが、これは戦後、英連邦に入ったときに英語学校がたくさんできたためです。今では多くのマルタ人が英語を話せるようになりましたが、ふだんは相変わらずマルタ語です。マルタ語は、ローマ字で書きますが、アラビア語の方言のひとつです。首都バレッタの入口には、Merħba fil-belt Valletta (メルハバ・フィル・ベルト・バレッタ) 「バレッタの町へようこそ」とありますが、これはアラビア語でも مرحبا في البلد (マルハバ・フィル・バラド) です。



バレッタの入口にメルハバ「歓迎」と書かれている

マルタでアラビア語が話されるようになったのは9世紀、アラブ王朝に征服されてからです。12世紀にはノルマン人が占領してキリスト教世界に入り、こうしてイスラム世界と袂を分かつことになり、文語アラビア語とも接しなくなりました。そのため、15世紀ころにローマ字で書かれるようになった言葉は、話されているアラビア語です。それで、アラブ世界では文字に書かれない、MHUX (ムシュ) 「～ではない」のような表現も、マルタ語ではちゃんとした標準語になっています。



MHUX (ムシュ) はアラビア語の話し言葉の「～ではない」

マルタは、シチリアやイタリアとのつながりが強く、言葉もたくさん入ってきました。「環境に責任をもて」という犬の糞の注意看板にも responsabbli 「責任」や ambjent 「環境」のようなイタリア語からの借用語を見ることができます。



犬の糞の始末を呼びかける看板

次のバカンスにはぜひ、マルタ共和国へ。

エジプトアラビア語を知るための4冊

・ * ・ ... † ... ・ * ・ * ・ ... † ... ・ * ・ ... † ... ・ * ・



長渡陽一「ニューエクスプレス エジプトアラビア語」
白水社 2011年

手前味噌ですが、きちんと勉強するならこの本です。最初の3課は、現地で出会う人との自己紹介に使えるようになっています。日常会話を中心に、旅行で使える表現も入れています。全編カタカナ付きで、文字が読めなくても大丈夫です。

... ・ * ————— * ・ ...

高野品弘「トラベルアラビア語会話手帳」語研 1994年

旅行用の会話手帳です。これも簡単な文法説明がついています。例文はアラビア文字とカタカナで書かれているので、通じないときは相手に見せても使えそうです。



... ・ * ————— * ・ ...



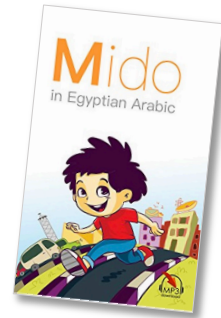
田中四郎「実用アラビア語会話」大学書林 1963年

新書版で手頃なのに、現地生活に使える例文がたくさん入った実用会話集です。文法解説や、日→アラの用語集も豊富でとても便利です。発音記号で書かれているので、正確な発音が学べます。

... ・ * ————— * ・ ...

Mariam Khaled 「Mido in Egyptian Arabic」 出版社:lingualism 2017年

小さな男の子、ミドちゃんの日常生活の物語です。中級のかたに丁度良いです。対訳が英語なので苦労しますが。エジプト方言のほか、シリア方言版、文語版があるので、比べながら楽しむこともできます。音声はMP3をダウンロードできます。



... * ————— * ...